

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18035	1	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	体の仕組みと働き I (Anatomy and Physiology I)				
担当教員名	高野海哉				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要</p> <p>看護は人を対象にする専門職であり、対象となる人を見て身体の中で起きていることを知り、これから起こることを予測して判断する能力も求められる。その際、身体の異常に気がつく力、異常を知る力が必要になる。正常な身体の仕組みと働きが損なわれると異常となることから、身体の異常とは何かを知り、異常に気がつくには正常な身体の仕組みと働きを知っている必要がある。したがって、人体や人体を構成する器官・臓器について、正常な構造と働きに関する基本的な事項を学ぶ必要がある。</p> <p>本科目は、正常な人体の仕組みと働きのうち、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人体の基本的な構造 人体構造の骨組み (骨格系) (2) 体液とその循環に関わる仕組み (循環器系と血液) (3) 外界から酸素を取り込む仕組み (呼吸器系) (4) 食べ物として摂取したものから栄養素を吸収し利用する仕組み (消化器系) (5) 体液中の老廃物を排出する仕組み (腎泌尿器系) (6) 生体の防御機構として働く仕組み (免疫系と皮膚・粘膜) について学ぶ。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各講義で取り扱った解剖学・生理学の専門用語を正しく暗記する。 2. 人体を構成する骨格について、授業で扱った内容の範囲で説明できる。 3. 体液および循環器系について、授業で扱った内容の範囲で説明できる。 4. 呼吸器系の構造とガス交換の仕組みについて、授業で扱った内容の範囲で説明できる。 5. 消化器系の構造と栄養素を取り込んで利用する仕組みについて、授業で扱った内容の範囲で説明できる。 6. 腎臓の働きと泌尿器系の構造について、授業で扱った内容の範囲で説明できる。 					
準備学習等					
<p>受講する準備 (予習) : 授業 1 回分に対して 30 分 講義は次ページの「授業計画」に沿って行う予定である。予習として、「講義テキスト」と購入した参考図書 (下記「テキスト」欄参照) において次回予定内容の該当項目を一読し、次回の授業内容を把握しておく。授業内容によっては、次回までにテキストなどを読んでくることを指示する場合がある (授業中に指示します)。</p> <p>受講 講義は授業形式で行われる。各回の授業は進度が早いので欠席すると内容理解が不十分となる可能性が高い。授業を受けた内容を「講義テキスト」にメモを取るなどして記録するようにし、後に復習できるようにする。</p> <p>受講後の復習 : 授業 1 回分に対して 30 分 授業後の復習として、授業で「講義テキスト」に書き込んだメモなどを整理し、内容理解に努める。さらに購入したテキストの授業内容に該当する項目も読み、授業内容に追加して理解を深める。この段階で疑問点が生じた場合は、「参考図書」で調べるか、担当教員に質問して問題解決を図る。</p>					

成績評価の方法	定期試験 100%
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義テキスト（初回授業で配布します） ・（基本を学ぶ看護シリーズ）2. からだの仕組みと働きを知る（高野海哉・川岸久太郎・草間朋子 著：東京化学同人）
参考図書	<p>「系統看護学講座 専門基礎① 解剖生理学（坂井建雄ほか著 医学書院）※ （新体系 看護学全書）人体の構造と機能① 解剖生理学（橋本尚詞・鯉淵典之 著 メジカルフレンド社）※</p> <p>「ナーシンググラフィカ① 解剖生理学」（林正健二編 メディカ出版）※ 「ロス&ウィルソン 解剖生理学」（島田達生ほか監訳 西村書店）※ 「ヒューマンボディ 原著第3版」（片桐康雄ほか監訳 エルゼビアジャパン）※</p> <p>※ 「人体の構造と機能（第3版）」（佐藤昭夫ほか著：医歯薬出版）※</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワーについては、履修案内「オフィスアワー」の項目を参照してください。 ・メール（k-takano@thcu.ac.jp）でいつでも質問などには対応します。 ・試験実施後に出題内容に関する解説を行い、答えは返却する予定です。 ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図で確認すること。
授 業 計 画	
<p><人体の構造と骨組み（骨格系）> 第1回 人体の構造（部位の名称など）と特徴 体幹の骨格系 第2回 体幹の骨格系 四肢の骨格系</p> <p><体液とその循環（循環器系・リンパ系・血液・リンパ液）> 第3回 心臓 第4回 血管系 リンパ管 第5回 体液（血液・組織液・リンパ液）</p> <p><外界から酸素を取り込む仕組み（呼吸器系）> 第6回 呼吸器系の構造 第7回 ガス交換の仕組み</p> <p><外界から栄養素を取り込み、利用する仕組み（消化器系）> 第8回 消化器系の概要 咀嚼と嚥下 第9回 消化と吸収 第10回 未消化物の排泄 第11回 肝臓・胆嚢・膵臓</p> <p><体液中の老廃物を排泄する仕組み（腎臓・泌尿器系）> 第12回 腎臓・尿生成と体液調節機構 第13回 尿を体外に排泄する仕組み（泌尿器系）</p> <p><生体を外界から防御する仕組み（免疫系・皮膚と粘膜）> 第14回 免疫系 第15回 皮膚・粘膜の構造と機能</p> <p style="text-align: right;">※単元の内容によって順序が前後する可能性があります。</p>	